

CASBEE 広島 2016年版
中国四国管区警察学校生徒寮

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	3.1
1 音環境						2.0	0.15	2.7	1.00	2.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						1.0	0.50	2.4	0.50	
1 開口部遮音性能						1.0	1.00	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御						2.3	0.50	2.3	0.50	
1 室温						2.0	0.63	2.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.1	0.25	3.6	1.00	3.3
3.1 昼光利用						3.6	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率		1階集会室2.38%、各階寮室3.30%				4.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		住居部:カーテン、庇で制御				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		内部仕上材は全て規制対象外品とする				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						4.5	0.40	4.6	0.38	
1 換気量		建築基準法を満たす換気量の1.4倍となる				5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		取入口は排気より6m以上離れて設置				4.0	0.50	4.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.3	0.40	2.8	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		寮室天井高2.50m				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を採用している				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		掃除流し設置により維持管理に配慮				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法の25%増の耐震性を有する				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型便器の採用等				5.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.2	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			-	-	3.4	0.50	
1 階高のゆとり	階高3.4m		-	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	構造部材、仕上げ材を痛めることなく修繕、更新できる		5.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保	受変電設備の予備スペース設置		4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	景観への配慮、緑地を設置		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	中庭利用で換気効果を促進させている		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.97		3.3	0.50	-	-	3.3
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネに関する住まい方について説明がされている		4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			4.2	0.20	-	-	4.2
1.1 節水	自動水栓に加え、節水型便器の採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.4	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用によって、雨水利用率の20%以上を満たす		5.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート(床材)、カーペット(床材)、押出法ポリスチレンフォーム(断熱材)		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	移動間仕切設置		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率=42%		5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	ガス又はばいじん濃度が排出基準値より大幅に抑えられている		4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し		5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	